

文化資源学の展望プロジェクト募集要項2018

文化資源学会

1. 目的

多彩な研究者の集まる文化資源学会をさらに活性化させるために、領域横断型の研究の機会を設けることにしました。会員による学際的な研究の推進、その成果シンポジウムの開催に対して助成します。

2. 研究助成と成果報告（5. スケジュールも参照のこと）

- 1) プロジェクトは2年間とし、最大20万円を助成する。
- 2) 助成するプロジェクトは、毎年度、1本とする。
- 3) 理事会より、理事1名が採択プロジェクト世話役を務める。
- 4) 採択者は、自ら提案する学際的な研究を推進し、成果を2年度目の秋に公開シンポジウムの形で会員に報告する。成果シンポジウムは、採択者本人を含めて3名以上のパネリストで構成する。採択者は、企画立案、パネリストの人選と交渉、当日の進行を務める。
- 5) 採択者は、毎年度、世話役理事と相談の上、理事会に経過報告を提出する。2年度目の理事会には、成果シンポジウム案も提出し、承認を得る。
- 6) 採択者は、成果シンポジウム終了後、活動報告書を理事会に提出し、それとは別に、学会誌にシンポジウム開催報告を載せる。

3. 応募の方法

以下の項目を明記した応募書類を電子ファイルで提出する。

- ・ 応募者氏名（複数の会員による応募も可。ただしその場合は代表者を示すこと）
- ・ プロジェクト名
- ・ 応募者の履歴および研究業績または活動実績（過去5年以内）
- ・ プロジェクトの概要
- ・ 期待される成果（シンポジウムのテーマを含む）
- ・ 予算計画（資料費、パネリスト謝金、旅費、施設使用料など[パネリスト謝金は1万円、旅費は実費を原則とする]。飲食費は不可）

4. 審査の方法

理事会で審査する。

5. 2018年採択プロジェクトのスケジュール

2018年

- 9月21日 公募開始。
- 10月31日 公募締切。
- 11月 理事会による審査。
- 11月30日 採択者、世話役理事の決定。
- 12月1日 助成開始。

2019年

- 5月31日 経過報告（活動概要、予算執行状況）を世話役理事に提出。
- 7月 理事会で経過報告の承認を得る。

2020年

- 5月31日 経過報告（活動概要、予算執行状況）、シンポジウム案を世話役理事に提出。
- 7月 理事会で経過報告、シンポジウム案の承認を得る。
- 秋 成果シンポジウム開催。

2021年

- 3月31日 活動最終報告書、最終決算書、『文化資源学』19号掲載用シンポジウム報告の提出締切。